

4. データ処理の流れのいろは（アウトライン編 ③）：源氏物語千年紀・集計結果を読む 演習のねらい：

- ㊦ 参照形式の復習および、関数を学ぶことに対するモチベーションを高める
- ㊦ **求められている結果を出すために必要な集計は何かを考える**
- ㊦ **データを読むレッスン（因果などについて、背景を元に推測・イメージする）**

（演習問題）

あなたは、京都博物館の企画部に勤めています。イベント実施結果報告を元に新しいイベントを企画することになりました。入場者データ（genji.csv）を集計し、企画を立案してみましょう。

源氏物語千年紀関連イベント	
日 程	200* 年 5 月 20 日（日）～6 月 3 日（日） 毎月曜日は、イベントの休会日
開催時間	10：00～17:00
開催場所	京都国立博物館 常設展示場
主 催 者	京都市宇治市合同 源氏物語千年紀 委員会
入 場 料	A・大人（中学生以上）……………200 円 C・子供（小学生以下、5 歳以上）…………… 50 円 S・高齢者（70 歳以上）…………… 20 円
目 標	1日あたりの入場者数 750 人 会期全体での合計収入金額 150 万円 目標設定は、入場者の属性を無視したもとする

<データ処理の流れ>：

1. genji.csv を Excel に読み込み、Excel 形式でファイル名をつけて保存します。
（注意）Excel 形式で保存しわすれると、計算機能などを持ったデータがすべてテキスト（文字、数字）で記録され、再計算などができなくなります。
2. データの並びをよく見て、どのような形の表に形成するか考え、集計可能な表に編集します。
 - ❖ こつこつ手でデータを移動する ==> **今回は、データを動かす手間を体験しましょう。**
 - ① 日付のデータを右列に表示させます。
 - ② 日付と人数、その他のコメントの列をごっそり別の列に「形式を選択して値のみ」貼り付けます。このとき日付がシリアル値になりますが、無視して作業します。
 - ③ このデータを移動して、まず、横方向に長い表を作成し、行列を入れ替えてコピーして表を整形します。
 - ❖ 特殊な関数を利用する
データの整理例：
http://rl-yasuko.chillout.jp/mater/kyozai/data_proces/data/dataseiri.xls
データ整理の参考資料：
http://rl-yasuko.chillout.jp/mater/kyozai/data_proces/print/dataseikei_1.odf

